【事業名】南大東島に生育するダイトウサクラタデ及びアラゲタデの種子繁殖
（沖縄県島尻郡南大東村）　【団体名】大阪市立大学理学部附属植物園

令和２年度　生物多様性保全推進支援事業
実績報告書別紙10－６

事業の背景・目的

本事業では，南大東島および北大東島に生育するダイトウサクラタデおよびアラゲタデの生育域外保全のため，個体の遺伝的多様性を確認しつつ，種子を生産・保存する。そのため，令和２年度は，新たに生産した種子をこれまで同様保存し、前年度までに回収した種子とあわせて、発芽率を計測する。また、種子の遺伝的多様性を測定することで、種子生産技術の評価を行う。

事業の内容

・前年度までに採集または栽培により保存したダイトウサクラタデおよびアラゲタデの種子について、発芽率を計測し、保存状態を確認した。また、発芽した個体を育成し、次年度以降の保全活動に用いる種子を回収した。

事業①　種子生産事業

- 前年度までに確立した方法で，圃場（育成用プール内）で植物を培養し、種子を生産する。

事業②　種子保存事業

- 低温保存を継続する
- 結実した種子を回収する

事業③　遺伝的多様性解析事業

- 保存した種子の発芽率を計測する
- 親子個体間で遺伝子型を比較し、継代による遺伝的多様性を解析・評価する

得られた成果

① 種子生産事業：令和２年度までの累積で，アラゲタデは783個の（目標値通り），ダイトウサクラタデは約10,000個（目標値の3倍）の種子を得た。

② 種子保存事業：予定通り，生産した種子は当園で保存中である。

③ 遺伝的多様性解析事業：発芽率試験を行う予定であったが，コロナ禍による研究制限のため，補助員の新規採用が行えなかった。そのため，当初予定していた本事業は実施できなかった。